



平成28年度 事業報告書

目次

【総括】	・・・ 1
【事業報告】	
(1) 地域福祉活動の周知・啓発	・・・ 2
(2) 地域福祉力の向上	・・・ 5
(3) ボランティア活動の充実と住民参加の仕組みづくり	・・・ 14
(4) 地域生活を支える事業の推進	・・・ 22
(5) 市社協の基盤づくり	・・・ 27

1. 総括

平成28年度は、社会福祉法の一部改正がなされ、社会福祉法人についても、一般財団法人・公益財団法人と同等以上の公益性を担保できる経営組織のガバナンスの強化等の改正を図ることになり、本協議会においても、定款変更や規程の制定など、所管庁の草津市の指導を仰ぎながら、手続きを進め、平成29年1月23日に定款変更の認可を得、これに関係する各種規則の一部改正を年度内に完了することができました。

また、介護保険法制度の改正に伴う、多様な主体による生活支援体制の整備を図る事業について、市と事業推進について協議を進め、平成29年度業に本業務を受託することになりました。

一方で、国は介護保険制度改正以降の福祉の制度改革を貫く基本コンセプトとして、住民が主体的に地域課題を把握して解決を試みる体制づくりと、その体制づくりを支援する取り組みを進める「我が事・丸ごと」を位置づけるなどの検討結果の中間とりまとめを昨年の12月にされました。

これに基づく、施策の推進が当面の国の方針となりますが、住民主体の取り組みは、今日まで社協活動が取り組んできた活動そのものであり、より一層社協活動に大きな期待が寄せられています。

こうした中、本協議会は、平成28年度は4つの重点事業を掲げ、活動を進めました。

1つ目の地域福祉活動推進の支援については、市社協の第3次草津市地域福祉活動計画の策定を進めました。策定に際しては、各学区社協役員の方々と福祉懇談会を開催するなど、地域課題の共有を図りました。また、平成27年度に実践学区に指定した大路、渋川学区については、住民福祉活動計画策定の事前調査として、住民アンケート調査活動の支援を行いました。他の学区については、医療福祉を考える会議や地域の福祉課題を解消するための各種会議・研修会等を通じて各学区の地域福祉活動の支援を行いました。

2つ目の介護予防に視点をおいた地域サロン活動等の支援については、中間支援組織の草津市コミュニティ事業団との連携事業として、ロクハ荘・なごみの郷を会場に地域サロン交流とく・得バスツアーを実施いたしました。昨年度同様、参加された方々から好評を得、平成29年度も継続実施することといたしました。

3つ目のボランティア活動への参加者拡大支援については、ボランティアセンターの機能強化として、個人ボランティアの育成を図るため傾聴講座を実施するとともに、脳トレ教室開催の協力ボランティアの方々が「一心たすけ（地域サロン応援団）」として活動をされる支援を行いました。また、災害ボランティアセンターについては、運営訓練に、まちづくり協議会関係者や一般市民の参加も得、運営ボランティアの育成に努めました。

4つ目の子育て支援や貧困の子ども支援に向けた、情報提供や支援の検討については、笠縫学区の子どもを対象にした毎月1回開催の「ふれ愛♥キッチン」の立上支援を行うなど私たちのできる支援について検討を進め、平成29年度に頑張る学区を応援する「地域のふれあいの場づくり助成事業」「地域のみんなが応援するフードバンク事業」などの事業化を図ることといたしました。

その他、心配ごと相談や生活福祉資金・生活つなぎ資金の貸付事業、権利擁護事業等をはじめ、学区社協を中心に住民とともに地域福祉活動の取り組みを進めてきました。

このような事業展開を通じて「こころ温かく支えあい 住みつづけたい 福祉のまち・くさつ」の実現に向けて、今後もより一層の取り組みを進めてまいります。

2. 事業報告

(1) 地域福祉活動の周知・啓発

子どもから高齢者まで一人ひとりが尊重され、くらしの課題を他人ごととしない福祉の風土づくりに取り組みます。

●広報紙「社協くさつ」発行事業

1,701,149 円

市社協広報紙「社協くさつ」を年4回発行し、市社協事業や住民の福祉活動の啓発に努めました。

○平成28年6月15日号（No. 149）…福祉活動推進委員育成講座、市社協事業計画・予算、
【発行部数 57,300部】 事業報告・決算、近所力アップ活動助成申請募集等

○平成28年9月15日号（No. 150）…第5回ボランティアフェスティバル、はいボランティア
【発行部数 57,650部】 センターです！、V. ハナミズキの活動紹介、福祉を考
える市民のつどい、熊本地震被災地支援職員派遣報告、
赤い羽根共同募金特集等

○平成28年11月1日号（No. 151）…ふれ愛キッチン、カフェ特集、はいボランティアセン
【発行部数 57,450部】 ターです！、歳末たすけあい見舞金の申請について、福祉
を考える市民のつどい、生活支援員募集等

○平成29年3月15日号（No. 152）…地域サロン交流会、市社協アルバム、賛助会員の紹介近所
【発行部数 58,450部】 力アップ活動助成団体からのありがとうメッセージ、社
会福祉功労者表彰、はいボランティアセンターです！、
義援金・共同募金実績等

●「広報くさつ」点字版作成・配布事業

255,000 円

視覚障害があり、広報「くさつ」点字版の配付を希望される方に、毎月1日号を基本に点訳し、郵送しました。点訳は草津点字グループ「あゆみ会」にお願いしました。

配付対象	配付先人数等	配付数
視覚障害者	4人	48部
障害者福祉センター	1カ所	12部

●ホームページ運営事業

400,000 円

市社協の事業をより多くの方々に知っていただくために、ホームページをリニューアルしました。

市社協の実施する地域福祉事業をより利用してもらえるように、ボランティア登録の様式や福祉用具の貸出の様式を掲載しました。また、トピックス枠にて、日赤や共同募金、寄附金等の最新情報を発信し、募集啓発と実績の報告に努めました。

○平成28年7月15日から平成29年3月31日までのホームページ閲覧状況
アクセス総数…25,944件

●「ふくちゃん」啓発

ボランティアフェスティバルや福祉を考える市民のつどいをはじめ、市内で行われるイベントにふくちゃんを派遣し、草津市内の地域福祉活動について、啓発を行いました。

No.	月日	内 容	依頼団体
1	平成28年5月15日	民生委員・児童委員の日	草津学区民生委員児童委員協議会
2	8月 6日	なごみの郷 夏まつり	なごみの郷
3	10月15日	第5回ボランティアフェスティバル	—
4	10月22日	2016山田ふれあいまつり	山田学区社会福祉協議会
5	10月29日	2016玉川萩まつり	玉川まちづくり協議会
6	11月 6日	福祉を考える市民のつどい	—
7	11月20日	ふれあいまつり	志津地区民生委員児童委員協議会
8	11月 7日	第34回 青地第二町内会 文化祭	青地第二町内会 文化部
9	12月22日	さくら坂保育園 クリスマスサロン	志津社会福祉協議会
10	平成29年3月13日	ペットボトルキャップ受け取り	大路幼稚園

●市社協のしおり作成

124,200 円

住民の方々や賛助会員の方々をはじめ、広く市社協の事業を知ってもらうために、市社協のしおりを1,000部作成し、窓口や会議等の場で配布しました。

●福祉を考える市民のつどい（草津市コミュニティ事業団との連携事業）

120,000 円

市民ふれあい秋まつりと合同開催し、地域福祉活動を知り、様々な体験を通じて「福祉」について考えるきっかけの場を提供しました。今年度は特に、例年の各単位民生委員児童委員協議会の活動紹介パネルに加え、14学区社協の活動紹介パネルも展示し、訪れた多くの方々に日頃の身近な地域での支え合いの姿を「見える化」することにより、地域福祉活動の周知・啓発を行いました。

開催日：平成28年11月5日（土）10時～15時

場 所：草津市役所1階

内 容：

- ・各学区社会福祉協議会活動紹介（パネル展示）
- ・各単位民生委員児童委員協議会活動紹介（市民児協主催によるパネル展示）
- ・市社協キャラクターふくちゃん登場
- ・ガチャガチャ共同募金

【当日募金額】ガチャガチャ共同募金：8,300円 募金箱：1,000円

- ・義援金募集と光るミサンガのお渡し

【当日募金額】熊本地震災害義援金：1,630円 東日本大震災義援金：531円

台風10号等災害義援金：130円 鳥取中部地震災害義援金：130円

対 象：市民

参加者：1,500人



●近所力アップ講座（出前講座）

2,916 円

地域に職員が出向き、より身近な福祉の専門職として、住民同士のつながりや地域福祉活動の大切さを伝えました。

合計参加者：183人

No.	学区	開催日	内容	依頼団体	参加者
1	渋川	平成28年 6月21日（火）	安心して生活できる地域をつくるために	老人クラブ	30人
2	志津	7月 6日（水）	市社協の役割	地域サロン参加者 障害者更生会	45人
3	草津	7月 9日（土）	熊本地震被災地支援～行ってわかったこと～	民生委員・児童委員	23人
4	草津	8月26日（金）	「いつも元気であるため」に心がけること	ボランティア	12人
5	南笠東	12月19日（月）	南笠東学区の健康づくり	学区社会福祉協議会	53人
6	老上	平成29年 1月21日（土）	みんなが地域で幸せに暮らすために	地域サロン	20人

●社会を明るくする運動

110,000 円

法務省の主唱により、すべての国民が犯罪防止と、罪を犯した人たちの更生について理解を深め、それぞれの立場において力を合わせ、犯罪のない明るい社会を築く目的で7月1日の街頭啓発を皮切りに関係機関・団体と一体となり、作文コンテストをはじめ各種運動を推進しました。

協力団体：草津市、草津保護区草津支部保護司会、草津市青少年育成市民会議、
草津市更生保護女性会、草津市BBS会、草津警察署生活安全課、
草津市青少年補導委員会、草津市教育委員会、草津市学区社会福祉協議会会長会

○街頭啓発

開催日：平成28年7月1日（金）7時20分～8時30分

場 所：草津駅、南草津駅

内 容：啓発物品配付

対 象：市民

参加者：98人

○作文コンテスト

応募校：2校（高穂中学校、玉川中学校）

応募作品数：35点



(2) 地域福祉力の向上

くらしの課題を共有し、解決に向けて地域福祉力の向上と住民主体の地域福祉活動の発展をめざします。

●地域福祉活動推進の支援強化【拡大】

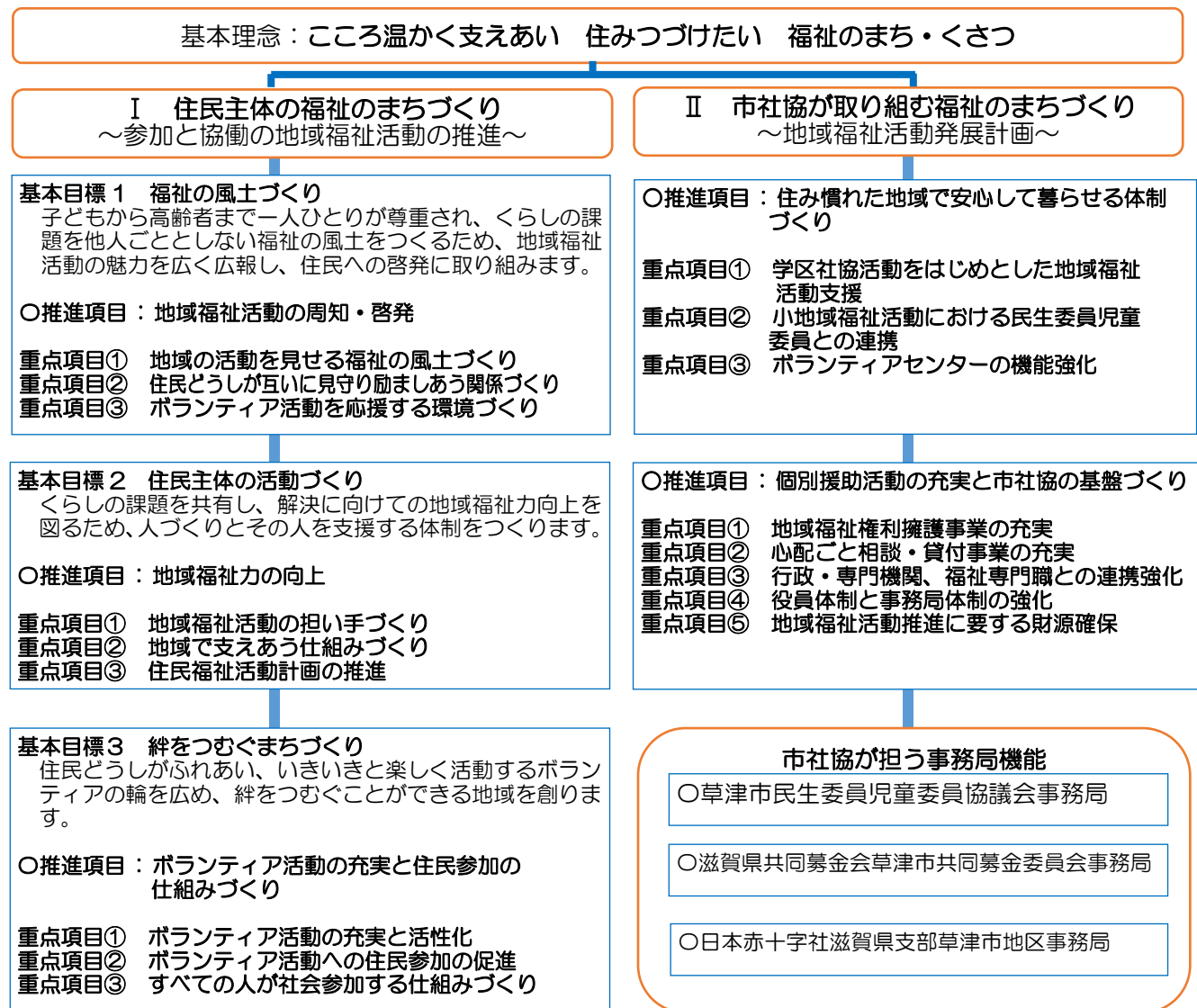
重点 1

1,545,346 円

第2次草津市地域福祉活動計画の最終年度を迎えるにあたり、今年度は地域福祉活動推進委員会にて第3次草津市地域福祉活動計画の検討を行いました。3回の策定委員会・作業部会の合同会議、8回の策定委員会作業部会で委員のみなさんの意見を受け、第2次計画期間中の取組みの検証や、14学区社協懇談会での意見交換、分野別聞き取りアンケートなどをふまえながら、策定を進めました。

基本理念は前計画を引き継ぎ、計画の構成も、福祉のまちづくりのために地域が進める活動と、それを支援する市社協という体系を継承しました。しかしながら、学区社協懇談会等で出た意見の反映や、地域包括ケアシステムなどの新たな地域福祉の推進のあり方をとらえたうえで、重点項目を追加・変化させることにより、時代に応じたこれからの地域福祉活動の推進を図る計画としました。

平成29年度からも、地域住民のみなさんと連携、協力し、さらに地域福祉活動の推進に取り組むこととしています。



モデル学区の取組み

【老上・老上西学区】平成26年度～

（主な事業や活動）

- おしゃべりカフェ “日曜カフェ きらく” を毎月第4日曜日13時から15時まで開催しました。
（バザー1回実施）
- 医療福祉を考える会議の開催
⇒今年度は3回開催し、1回目は『地域の高齢者を見守るしくみについて拠点について考える』と題して地域に住む高齢者をどう見守るのかを視点に地域で取り組んでいることや課題についてグループワークを行いました。
2回目は1回目引き続き『異常の早期発見やどうすれば気が付くのか、交流の場をどう作っていくのか』グループワークを行いました。
3回目は『誰もが立ち寄れる拠点（安心拠点）』についてグループワークを行いました。
- 視察研修の実施
⇒住民参加型助け合いサービスの取り組みとして甲良町の「困り事援助サービス」を視察しました。

（市社協の主な支援）

- 月1回の定例会へ出席し助言を行いました。
 - 日曜カフェの運営の支援を行いました。
 - 視察研修先や研修内容について、視察先の社協との調整や助言、情報の提供を行いました。
- ※訪問回数（相談支援も含む）：延べ60回

【山田学区】平成26年度～

（主な事業や活動）

- 医療福祉を考える会議の実施
⇒これまで会議は10回開催してきましたが、その中で地域住民と専門機関との間で会議の開催の考え方に違いがあることを感じられ、会議の実施主体である学区社協は、「日頃どのような思いから活動しているのか？」を知ってもらうため、その前段として、「社会福祉協議会とは」について市社協から説明し、会議メンバーへ改めて周知を図りました。
また、「10年後の自分たちはどのような暮らしをしているか？」をテーマにグループワークを行い、出た意見をふまえ、地域住民と専門職機関の会議のとらえ方の違いを認め合いながら今後会議を進めていくこととしました。
- 学区ボランティア連絡協議会の研修の実施
⇒ボラ連活動の新たな広がりをつくり、ボラ連間でのつながりを深めるため、研修を実施しました。
甲賀市のコミュニティカフェ「ナイン」を視察しました。

（市社協の主な支援）

- 医療福祉を考える会議では、学区社協の“会議を開催する思い”に寄り添いながら、地域包括支援センター等とどういった内容にしていくかの協議を重ねました。
- 学区ボランティア連絡協議会の研修では、当日だけでは終わらず、次の活動へとつながるようなわくわくする楽しい研修を企画し、綿密な調整を何回も行いました。また、当日は研修にも随行し、研修をサポートしました。

※訪問回数（相談支援も含む）：延べ25回

【大路区】平成27年度～

（主な事業や活動）

- 全世帯を対象にした第2次住民福祉活動計画策定のための暮らしのアンケートを実施
⇒住民の地域に対する想いや、学区社協に対して求めているものを調査し、その意見を、第2次住民福祉活動計画に反映させるために実施しました。
(対象世帯：5,349世帯、回答世帯：955世帯、回答率17.8%)
- 大路区・渋川学区合同研修会の実施
⇒地域性が類似し、共通の課題がある大路区と渋川学区でアンケートを実施し、その結果をもとに、それぞれの悩みを共有・情報交換を行い、学区社協の活動の柱となる住民福祉活動計画を見直すきっかけの場として実施しました。
- 高齢者ふれあいサロンの開催
⇒一人暮らしや高齢者のみ世帯のふれあいの場を提供するため開催しました。
- 視察研修の開催
⇒評議員（町内会長など）を対象に大原記念病院を視察しました。

（市社協の主な支援）

- 住民アンケートを実施する際、アンケート内容、配付方法等について、学区社協の役員と共に作成を行いました。また、大路区とともに住民アンケートを実施した渋川学区と実施した「合同研修会」を学区社協と共に企画、実施しました。
 - 視察研修の実施に向け、大路区で必要と思われる研修内容を一緒に考え、研修先の提案等を行いました。
- ※訪問回数（相談支援も含む）：延べ11回

【渋川学区】平成27年度～

（主な事業や活動）

- 医療福祉を考える会議の実施
⇒地域と専門機関が高齢者の生活課題について情報を共有し、それぞれができることを検討し、高齢者が安心して生活できる福祉のまちづくりを進めるために、平成27年度より医療福祉を考える会議を開催し、平成28年度は、認知症を切り口とした、町内会や地域サロンを対象とした座談会を開催するため、専門機関と協議を重ねました。
- 地域サロン交流会の実施
⇒高齢者の居場所づくりとして、学区の中で広がりを見せている地域サロンが、より充実した活動が実施できるよう、地域サロン交流会を企画、実施しました。
- 全世帯を対象にした第2次住民福祉活動計画策定のための暮らしのアンケートを実施
⇒平成27年度から、学区社協の活動指針である住民福祉活動計画の見直しを行っており、平成28年度については、全住民を対象とした、住民アンケートを実施し、これから学区社協が目指す方向性について、検討するきっかけとなりました。
(対象世帯：4,454世帯、回答世帯：758世帯、回答率17.0%)

○民児協との情報交換の開催

⇒地域住民の「助けて」という声を逃さないため、民児協との情報交換の場を設け、地域でできることを話し合いました。

○視察研修の開催

⇒障害者福祉や高齢者福祉について学ぶため、「びわこ学園」および「特別養護老人ホーム風和里」を視察しました。

(市社協の主な支援)

○住民アンケートを実施する際、アンケート内容、配付方法等について、学区社協の役員と共に作成を行いました。また、渋川学区とともに住民アンケートを実施した大路区と実施した「合同研修会」を学区社協と共に企画、実施しました。

○医療福祉を考える会議の打合せ会議にも出席し、会議が地域福祉活動を進めるきっかけになるよう助言を行いました。

※訪問回数（相談支援も含む）：延べ50回

●介護予防型地域サロン支援

重点2

253,000円

介護保険制度の改正に伴い、介護予防型サロンに移行できるよう備品を購入し、地域サロン交流会において見ていただき、うながしプログラムとして、「げんき・ながいきプログラム2」を作成し、配布しました。

○購入備品 リズム楽器セット 低床型玉入れセット 大型バランスゲーム

○「げんき・ながいきプログラム2」 300部作成

●とく得バスツアー

重点2

298,111円

中間支援組織との協力・連携の一環として、地域の自治会館まで送迎し、「ロクハ荘」「なごみの郷」を活用しながら外出機会を増やすことを目的としたバスツアーを実施して、地域サロン活動のさらなる充実と活性化に努めました。

第1回開催日：平成28年6月24日（金）

場 所：なごみの郷

サロン：RO-KO バンドサロン（玉川） 14人

中出アコチャン会（渋川） 11人

東草津おしゃべりサロン（草津） 10人 計35人

内 容：手・指の体操

小物づくり（石鹼にデコパージュ）

生演奏で歌いましょう（ミュージックセラピーオンタイム）



第2回開催日：平成28年7月15日（金）

場 所：ロクハ荘

サロン：寿サロン（老上西） 3人

ひばりサロン（笠縫） 49人 計52人

内 容：手・指の体操

小物づくり（石鹼にデコパージュ）

生演奏で歌いましょう（ミュージックセラピーオンタイム）



第3回開催日：平成28年8月26日（金）

場 所：なごみの郷

サロン：いきいき百歳体操サロン（渋川）	17人	
コスモス（笠縫）	14人	
ぼちぼちの会新堂（笠縫東）	21人	計52人

内 容：手・指の体操

小物づくり（石鹼にデコパージュ）

フラを楽しもう（リコレフラ）

生演奏で歌いましょう（NSファミリー）



第4回開催日：平成28年9月17日（土）

場 所：ロクハ荘

サロン：湖都町ことぶき会（草津）	11人	
上笠第四いきいきサロン（笠縫）	13人	
野路下北池クラブ（老上）	7人	計31人

内 容：手・指の体操

小物づくり（石鹼にデコパージュ）

落語（九冊八 帰帆）

生演奏で歌いましょう（NSファミリー）



第5回開催日：平成28年10月21日（金）

場 所：なごみの郷

サロン：健康友の会（草津）	15人	
ミックス	21人	計36人

内 容：手・指の体操

小物づくり（石鹼にデコパージュ）

フラを楽しもう（リコレフラ）

生演奏で歌いましょう（NSファミリー）



第6回開催日：平成28年11月17日（木）

場 所：ロクハ荘

サロン：地域サロンアピオ（笠縫）	12人	
吉楽会（常盤）	10人	
ほのぼの会北大萱（常盤）	15人	計37人

内 容：手・指の体操

小物づくり（石鹼にデコパージュ）

フラを楽しもう（リコレフラ）

生演奏で歌いましょう（NSファミリー）



●地域支え合い運送支援

225,290 円

地域の活動団体が主体となって実施する移動困難者のボランティア運送支援事業を支援するため、活動者を対象とした安全運転講習会を実施し、安全に事業運営していただけるよう努めました。

運行状況について、定期的（3か月に一度）に事業実施学区に確認し、また、送迎ボランティアの定例会にも適宜出席するなどして、事業実施状況を把握し、円滑な事業運営に努めました。

○実施学区

- ・志津南学区（事業主体：志津南学区まちづくり協議会）
※平成26年9月より事業実施【ダイハツのタントを貸与】
- ・山田学区（事業主体：山田学区まちづくり協議会）
※平成26年11月より事業実施【トヨタのヴィッツを貸与】

	志津南			山田		
事業主体	志津南学区まちづくり協議会			山田学区社会福祉協議会		
実施主体	志津南学区社会福祉協議会			V・ハナミズキ		
年度	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成28年度	平成27年度	平成26年度
利用登録者数	23人	23人	21人	16人	7人	9人
延べ送迎人数	177人	202人	83人	129人	176人	45人
送迎ボラ人数	13人	14人	12人	8人	8人	6人
送迎日数	130日	160日	65日	125日	138日	29日
走行距離	2,473 km	3,108 km	1,297 km	2,028 km	2,066 km	554 km
送迎先	近隣病院 診療所 福祉施設 歯医者 薬局 市民センター 郵便局	近隣病院 診療所 サ高住 歯医者 薬局 市民センター 郵便局	近隣病院 診療所 歯医者 薬局 市民センター 郵便局	近隣商業施設 近隣病院 診療所 市民センター	近隣商業施設 近隣病院 診療所 市民センター	近隣商業施設 近隣病院 診療所 市民センター

○交通安全講習

開催日：平成28年12月7日（水）

場 所：草津市社会福祉協議会 2階研修室

内 容：①警察署からの専門的指導

講師：草津警察署

②意見交換会

担当：草津市社会福祉協議会

参加者：22人



●福祉活動推進員(市民コーディネーター)育成講座

312,490 円

地域福祉活動者を増やすことや、地域福祉活動のリーダーの育成、地域福祉活動推進体制の強化をめざし、本講座を開催しました。また、講座修了者が学区の福祉活動につながるよう支援しました。

【平成28年度福祉活動推進員育成講座】

	開催日	内容・講師	参加者
1日目	8月10日(水)	くらしの問題と地域ー導入編ー 講師：びわこ学院大学教授 平尾良治さん	65人
2日目	9月14日(水)	くらしの問題と地域ー高齢者編ー 講師：老上地域包括支援センター 小山大介さん 松原地域包括支援センター 濱崎克子さん	59人
3日目	10月18日(火)	くらしの問題と地域ー子ども編ー 講師：龍谷大学准教授 山田容さん 笠縫学区主任児童委員代表 山田ひかるさん	54人
4日目	11月8日(火)	くらしの問題と地域ー障害者編ー 講師：華頂短期大学教授 武田康晴さん 特定非営利活動法人ディフェンス 宮下千代美さん	42人
5日目	12月14日(水)	いま、私にできることは何か見つけよう！ 講師：びわこ学院大学教授 平尾良治さん 山田学区社会福祉協議会会長 岡顯朗さん	40人

今年度修了者：25人

(平成28年度に開催した全5講座を受講した者および平成26年度から通年で5講座を受講した者)
平成23年からの学区別修了者数の状況

志津	志津南	草津	矢倉	大路	渋川	老上	老上西	玉川	南笠東	山田	笠縫	笠縫東	常盤
15	26	12	11	10	14	5	1	8	8	27	12	5	1

通年修了者計：156人

●地域福祉活動ステップアップ講座

福祉活動推進員育成講座で地域についての基本的な学習から、さらに発展的に地域福祉活動についての知識を深めていただくことを目的に、今話題になっている、住民が知りたいと思う内容のステップアップ講座を開催しました。

【1回目】

開催日：平成28年10月15日(土)

場 所：市社協 2階研修室

内 容：「災害が起こっても助け合えるつながりづくり」～がまだすばい！地域力～

コーディネーター：京都光華女子大学准教授 石井祐理子さん

パネリスト：熊本県西原村社会福祉協議会 坂田誠子さん

玉川学区社会福祉協議会 小野元嗣さん

草津市社会福祉協議会 馬場英理

対象者：市民

参加者：164人

【2回目】

開催日：平成29年3月15日（水）

場 所：市社協 2階研修室

内 容：未来～第3次草津市地域福祉活動計画の策定から～

コーディネーター：大谷大学文学部社会学科教授 山下憲昭さん

パネリスト：山田学区社会福祉協議会会長 岡顯朗さん

草津市社会福祉協議会 山形真由

対象者：市民

参加者：67人

●福祉委員設置促進

44,280 円

学区社協との協働により「福祉委員の手引き」をもとに学習会などを開催し、福祉委員活動がより効果的に行われるよう支援しました。

合計参加者：130人

No.	学区	開催日	内容	依頼団体	参加者
1	玉川	平成28年6月 8日（水）	福祉委員の役割について	玉川学区社会福祉協議会	60人
2	老上	平成28年6月25日（土）	福祉委員の役割について	老上・老上西学区社会福祉協議会	70人

●社会福祉功労者表彰式典

297,319 円

福祉を考える市民のつどいにおいて、長年活躍している地域福祉活動者やボランティアに対してその功績を称え表彰し、活動を応援しました。また、社会福祉の向上のため寄附された個人や団体に感謝の意を表彰しました。

なお、今年度は「滋賀県共同募金会会長顕彰」として、長年にわたり共同募金運動の推進に尽力され、本県民間社会福祉事業の発展に大きく貢献された個人や団体の表彰と、赤い羽根共同募金運動に多額のご寄附をされた法人に感謝の意を表し表彰しました。

開催日：平成28年11月5日（土）

場 所：市役所 2階特大会議室



【社会福祉功労者表彰】

	内 容	被表彰者
表彰状	長年にわたり地域福祉活動の推進に尽力された方々	50人
	長年にわたり地域福祉活動の推進に尽力された団体	6団体
	長年にわたり社会福祉の向上のため多額の寄附をいただいた団体	1団体
感謝状	社会福祉の向上のため寄附をいただいた方々	5人
	社会福祉の向上のため寄附をいただいた団体	21団体
	社会福祉活動に積極的に協力され、その功績顕著な方々	1人

【滋賀県共同募金会会長顕彰】

	内 容	被表彰者
表彰状	長年にわたり共同募金運動の推進に尽力され本県民間社会福祉事業の発展に大きく貢献された方	1 人
	長年にわたり共同募金運動の推進に尽力され本県民間社会福祉事業の発展に大きく貢献された団体	2 団体
感謝状	赤い羽根共同募金運動に多額の寄附をされ本県民間社会福祉事業の発展に大きく貢献された法人	1 人
	赤い羽根共同募金運動の趣旨に賛同して毎年寄附をされ本県民間社会福祉事業の発展に大きく貢献された法人	5 団体

●寝たきり・認知症予防助成

90,000 円

草津市老人クラブ連合会が実施する高齢者を対象とする健康増進事業に対して助成し、活動を支援しました。

●障害児者介護者リフレッシュ支援

50,000 円

肢体不自由児者父母の会が中心となり実施する、肢体不自由児者や知的障害児者の家族の心身リフレッシュと介護者同士の交流・情報交換のための支援を行いました。

●知的障害者社会参加自立支援

50,000 円

草津手をつなぐ育成会が中心となり実施する、共同作業所等で働く知的障害者の社会参加を促す交流や余暇活動を支援しました。

●視覚障害児者支援

4,920 円

草津点字グループあゆみ会に情報紙の点訳を依頼し、視覚障害者への情報提供を行いました。

●中途視覚障害者外出支援

10,000 円

草津市視覚障害者協会が実施する、外出歩行訓練事業や交流会事業等を支援しました。

●いきいきふれあい大運動会助成

50,000 円

特定非営利活動法人草津市心身障害児者連絡協議会が主催しているいきいきふれあい大運動会事業へ助成し、活動を支援しました。

●子ども福祉活動助成

65,000 円

草津市子ども会指導者連絡協議会が実施する福祉活動事業へ助成し、活動を支援しました。

●福祉機器リサイクル（貸出事業）

112,000 円

不要になった福祉用具のリサイクル事業を実施し、必要とされる方へ福祉用具を貸出しました。

貸出備品	平成 2 8 年度	平成 2 7 年度	平成 2 6 年度
車いす	1 5 0 回	1 5 6 回	1 4 0 回
補聴器	3 回	6 回	9 回

(3) ボランティア活動の充実と住民参加の仕組みづくり

住民どうしがふれあい、いきいきと楽しく活動するボランティアの輪を広め、絆が実感できるまちづくりを推進します。

● ボランティアセンター運営 758,453 円

地域で活躍されているボランティアグループ・個人ボランティアへの相談援助に応じ、ボランティア活動の活性化を図りました。また、ボランティアの支援を必要とされている方とセンター登録されているボランティアとの間で需給調整を行いました。

【登録ボランティアの推移】

年度	ボランティアグループ		個人ボランティア	合計登録人数
	グループ数	人数		
平成28年度	319団体	4,565人	13人	4,578人
平成27年度	319団体	5,052人	15人	5,067人
平成26年度	309団体	4,793人	22人	4,815人
平成25年度	207団体	4,349人	8人	4,357人
平成24年度	159団体	3,512人	11人	3,523人

● ボランティア保険加入促進 61,400 円

ボランティア活動が安心しておこなえるよう「ボランティア活動中のさまざまな事故によるケガや損害賠償責任を補償する」ボランティア活動保険の加入を促進しました。

保 険 種 類		平成28年度	平成27年度
ボランティア活動保険	Aプラン	3,033人	2,714人
	Bプラン	783人	783人
	天災Aプラン	16人	18人
	天災Bプラン	23人	12人
	連協加入	614人	569人
ボランティア行事用保険		257件	276件
送迎サービス保険		3件	3件
福祉サービス総合保障		9件	9件

● ボランティアフェスティバル 776,022 円

第5回目の開催となる当年度は、「ヒカリ～with you smile～」をテーマに、さまざまな人・活動・もの・場所に光をあてたブースを企画しました。

同日には、災害が起こっても助け合えるつながりづくりについての講演会も開催しました。講演の最後には、パネリストとしてお迎えした熊本県西原村社協職員の坂田さんへ、サプライズとして山田小学校の児童から熊本のみなさんへの手作りメッセージをお渡ししました。

開催日：平成28年10月15日（土）

場 所：草津市社会福祉協議会

内 容：

- ・講演会「災害が起こっても助け合えるつながりづくり～がまだすばい！地域力～」
- ・ウェルカムアトラクション（NSファミリーとワークパートナーきららによるフラッシュモブ）
- ・ミニふれ愛キッチン
- ・笠縫こどもあそび広場
- ・デコパージュでかんたん・おしゃれにDIY
- ・スヌーズレン リラックスルームへようこそ
- ・きららカフェ
- ・外ブース スタンプラリー
- ・熊本地震義援金募集と光るミサガのお渡し【当日募金額】123,401円



対 象：市民

参加者：約900人

運営ボランティア：67人



●脳トレ教室（草津市コミュニティ事業団との連携事業） 【新規】

437,619 円

認知症予防に効果が高いとされている『脳トレ教室』をボランティアの新たな活動場所として位置付け、ボランティア活動の充実を図るため、なごみの郷とロクハ荘で平成28年5月から10月までの半年間実施しました。



昨年度サポーター養成講座を修了された18人のサポーターさんが教室運営やコミュニケーションタイムを担っていただき、受講者22人の皆さんが修了されました。



サポーターの皆さんの延べ活動回数は252回にもなります。
修了された受講者さんは、このままお別れするのはさみしいと『脳トレOB会』を立ち上げ、月1回集まって脳トレやおしゃべりを楽しんでおられます。

一方、11人のサポーターの皆さんは教室終了後、地域サロン応援の会『一心たすけ』を立ち上げボランティアグループとして活動されることになり、地域サロン交流会で紹介させていただきました。月に1回、定例会をされ、依頼先や支援内容を検討されて、地域サロンに出向かれます。

●ボランティア養成講座【新規】

240,000 円

分野別講座として、今年度は「傾聴講座」を実施しました。傾聴の基礎から専門的なことまで広く学び、また活動者の声を聞く機会を設けるなどして、相手に寄り添いながら丁寧に話に耳を傾けることの大切さを感じてもらえる講座となりました。

※延べ180名の参加があり、内7名の方を既存ボランティアグループにつなぎました。

	開催日	内容・講師	参加者
第1講座	平成28年 12月12日(月)	傾聴の基礎とそのココロを学ぶ －傾聴とはⅠ（基礎編）－ 講師：佛教大学福祉教育開発センター講師 佐藤順子さん	53人

第2講座	平成28年 12月19日(月)	より深く聴くことの大切さ ー傾聴とはⅡ(応用編)ー 講師：佛教大学福祉教育開発センター講師 佐藤順子さん	51人
第3講座	平成29年 1月16日(月)	体験実習 ー3人1組程度のグループを作り、ロールプレイングを実施し、身と心で傾聴を感じるー 講師：佛教大学福祉教育開発センター講師 佐藤順子さん	42人
第4講座	平成29年 1月23日(月)	活動への参加促進 ーボランティアグループの活動発表をうけ、講座で学んだことを活かしたボランティア活動への参画を図るー 講師：傾聴ボランティアひばり 森田恵美子さん 老上おしゃべりボランティア 山本清治さん	34人



●災害ボランティアセンター

重点3

127,621円

昨年度に引き続き、さわやか保健センターで運営訓練を実施しました。今年度は、訓練検討委員会を年5回開催し、入念な準備を行った結果、円滑な運営訓練となりました。新たな気づきも多くあり、次年度に活かせるものとなりました。また、これまでの訓練の経験を踏まえて災害ボランティアセンター設置・運営マニュアルを策定し、万が一の災害に対する備えを強化しました。

開催日：平成29年1月28日(土)

場 所：さわやか保健センター

対 象：災害ボランティアセンター運営協議会構成団体等

参加者：52人



●福祉車両貸出

587,774円

家庭の事情や経済・身体状況などにより病院などへの送迎が必要な方に対して福祉車両を貸出し、登録いただいている送迎ボランティアに送迎を依頼し、安心・安定した生活を送ることができるよう支援しました。

	平成28年度	平成27年度	平成26年度
タント1号	95回	100回	91回
タント2号	174回	203回	259回

	平成28年度	平成27年度	平成26年度
送迎ボランティア数	9人	8人	9人
送迎依頼者数	9人	13人	17人
送迎対応件数	269回	303回	350回

●独居高齢者電話訪問

88,328 円

70歳以上の一人暮らしや昼間独居の高齢者で話し相手を希望する方に、傾聴ボランティアが電話訪問することで孤立や孤独に陥らないように民生委員・児童委員と連携して支援しました。

利用者：7人 傾聴ボランティア：6人

	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度	平成24年度
電話訪問回数	137回	150回	157回	126回	87回

○傾聴ボランティア連絡会

傾聴ボランティアの情報交換やスキルアップの場として、毎月第2金曜日に傾聴ボランティア連絡会（12回）を開催し、精神保健福祉士に助言をいただいて、傾聴ボランティアの役割やより良い聴き手になれるよう研鑽を積んでいただいています。

●ボランティアグループ・地域サロン活動リスト作成

181,440 円

ボランティアグループ・地域サロン間で情報を共有していただき、活動の活性化につなげることや、ボランティアの仲間作りに役立てていただくことを目的に作成しました。

ボランティアグループをジャンル別に掲載することで、どのようなグループが市内で活動されているか検索しやすくしました。また地域サロンは学区別に掲載し、市内のどこで活動されているかが分かるようにしました。

○2色刷り750部作成

○配付先：登録ボランティアグループ、地域サロン、
学区社協、学区民児協、市役所、
地域包括支援センター、コミュニティ事業団、
市民センター、図書館、隣保館等



●「よみ～な」の発行

71,363 円

ボランティア活動の支援や情報提供の一環として、3回発行しました。

部数：2,500部

配布先：地域サロン、ボランティアグループ、市内福祉施設、学区社協、学区民児協、
市民センター、シルバー人材センター、隣保館、コミュニティ事業団、図書館、
アミカホール、市関係各機関

発行号		内容
1	平成28年5月号	県社協ふれあい基金助成、各種民間助成、ボランティアグループ紹介、ボランティア募集、新規登録ボランティアグループ紹介、職員紹介
2	平成28年9月号	草津市ボランティア連絡協議会館外研修・交流会、ボランティアグループメンバー募集、新規登録ボランティアグループ紹介、送迎ボランティア募集、民間活動助成
3	平成29年2月号	地域サロン貸出備品紹介、草津市ボランティア連絡協議会情報、ありがとう収集ボランティア、平成29年度ボランティア活動保険案内、平成28年度ふれあい基金採択グループ紹介

●移動ボランティアセンター

5,178 円

ボランティア活動の理解と参加の促進を目的として、イベントや講座に出向き、移動ボランティアセンターを設置しました。

事業名：高齢者及び災害弱者・避難行動要支援者に気づく体験研修

開催日：平成28年10月2日（日）

開催場所：志津南市民センター

依頼者：志津南自主防災連合会

内容：車いす体験、高齢者疑似体験、手話体験、点字体験

●福祉教育の推進・ボランティア体験教室

4,372 円

ボランティア活動や地域福祉活動の理解を広げるため、ボランティア体験教室や、学校等の福祉教育を支援しました。

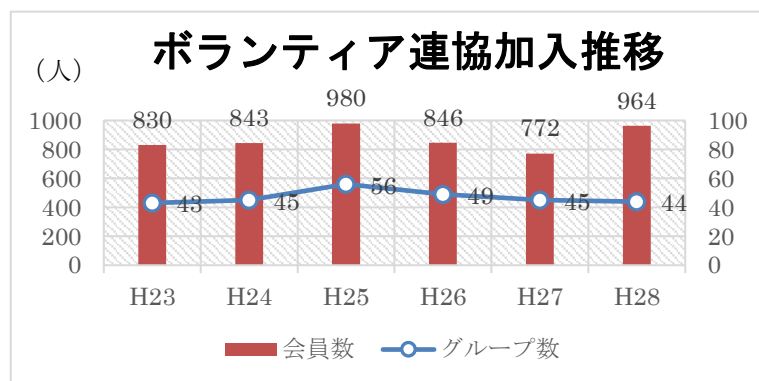
	計	車いす体験	点字体験	手話体験	盲導犬の理解
小学校	7校	12回	7回	7回	3回
中学校	1校	0回	2回	2回	0回
その他	4団体	2回	4回	5回	0回
計	8校・4団体	14回	13回	14回	3回

●市ボランティア連絡協議会活動助成

60,000 円

ボランティアグループの横のつながりを強化し活動を広げるため、ボランティア連絡協議会活動を支援しました。

○加入グループ 44グループ
(会員数 964 人)



●収集ボランティア啓発

2,050 円

身近にできるボランティア活動として広めるために、使用済み切手、カード、書き損じはがき、プルトップ、ペットボトルキャップなどの収集に努めました。

○使用済み切手 36件
○使用済みカード 6件
○書き損じはがき 1件
○ペットボトルキャップ 126件（812.2kg）
○プルトップ 73件

●ボランティア団体活動助成

445,000 円

市ボランティアセンターに登録しているグループを対象にボランティア活動の推進を図ることを目的に、1グループに対して5,000円を助成しました。

○助成団体数：89グループ

●ふれあい基金活動助成

350,000 円

ボランティア活動の裾野拡大を目的に滋賀県社会福祉協議会より活動助成を受け、下記ボランティアグループに対して助成を行いました。

グループ名	助成内容	助成額
鳩が森麵の会	保管庫の購入	50,000 円
素人演芸 よもやま劇場	音響機器および照明機器の購入	100,000 円
オアシスウェーブと仲間たち	音響機器および音響機材の購入	100,000 円
ニコラズ	音響機器および音響機材の購入	100,000 円

●民間助成の支援（意見書作成）

高齢者・児童・障害児者福祉活動を資金面で応援するため、各種機関から助成制度があり、意見書を添付することで民間助成を支援しました。

○大阪ガスグループ福祉財団「高齢者福祉助成」

【宅老所 心】

○大和証券福祉財団ボランティア活動助成

【フードバンク滋賀】

【上笠第一地域サロン】

【子育てサロン「コスモス」】

○子ども未来基金子育て支援活動助成

【笠縫学区まちづくり協議会】

【ウエنز】

【少年少女合唱団「星の子」】

○しがぎん福祉基金助成

【特定非営利活動法人 A J A】

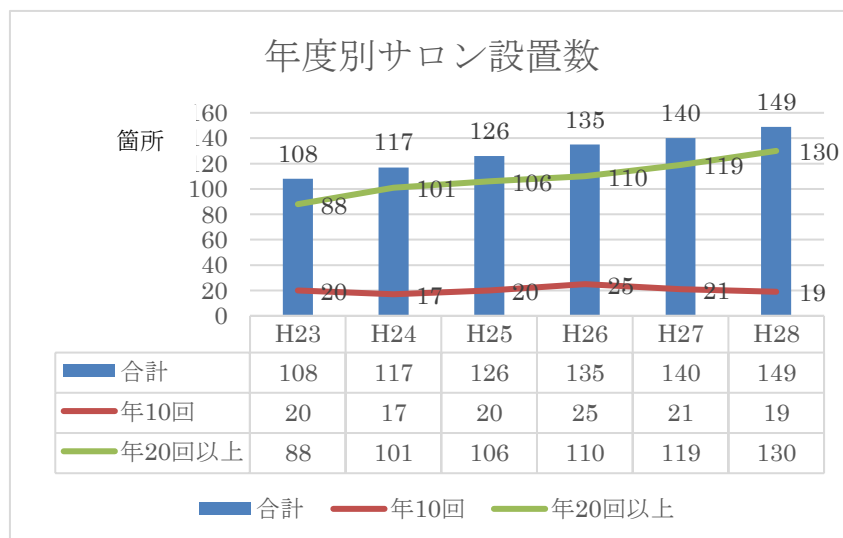
【特定非営利活動法人 草津市心身障害児者連絡協議会】

●地域サロン活動支援

9,325,000 円

地域サロン活動を通して、高齢者の見守り活動を推進し、身近な場所で支え合う関係づくりができるよう、また、高齢者の介護予防と自立を促進するためにサロン活動の拡充に努めました。

- ・新規地域サロン 11 グループ
- ・解散した地域サロン 2 グループ
- ・運営相談並びに情報提供 152 件
- ・地域サロン訪問 8 件



【地域サロン参加者・活動者状況】

	平成28年度	平成27年度
年間参加者延べ人数	80,226人	75,053人
年間運営ボランティア数	21,628人	19,209人

【学区別地域サロン開催状況】

学区・区	年間20回以上開催団体	運営ボランティア数	参加者（延人数）
志 津	11団体	1,435人	5,814人
志津南	8団体	2,592人	8,494人
草 津	9団体	1,631人	7,857人
矢 倉	10団体	1,631人	7,393人
大 路	9団体	579人	5,195人
渋 川	9団体	1,030人	4,617人
老 上	5団体	722人	3,818人
老上西	6団体	1,162人	4,250人
玉 川	9団体	2,378人	4,878人
南笠東	3団体	425人	2,474人
山 田	15団体	2,536人	6,985人
笠 縫	15団体	2,231人	9,015人
笠縫東	8団体	822人	2,425人
常 盤	13団体	1,328人	3,678人
計	130団体	20,502人	76,893人

学区・区	年間10回以上開催団体	運営ボランティア数	参加者（延人数）
志 津	0団体	0人	0人
志津南	0団体	0人	0人
草 津	0団体	0人	0人
矢 倉	0団体	0人	0人
大 路	1団体	12人	97人
渋 川	3団体	166人	771人
老 上	1団体	22人	114人
老上西	0団体	0人	0人
玉 川	2団体	159人	349人
南笠東	1団体	100人	370人
山 田	2団体	99人	296人
笠 縫	3団体	370人	706人
笠縫東	2団体	117人	331人
常 盤	3団体	81人	299人
計	18団体	1,126人	3,333人

●地域サロン交流会

21,973 円

今年度の交流会では、「おもてなしの大切さ」を重視し、話し合いの場として名刺交換会で交流を図り、担い手の皆さんの悩みや課題を共有し、新しいメニュー作りの提案などを実施して、これからの地域サロン活動継続と活性を目的として実施しました。

開催日：平成29年2月27日（月）13時30分～15時45分

場 所：草津市立まちづくりセンター 3階

内 容：地域サロン応援の会“一心たすけ”の紹介

新しい地域サロン備品の紹介

美味しいコーヒーをいただきましょう

名刺交換会

・テーマ：“大事な、大切な、あったかいおもてなしは・・・”

・講 師：介護初心者向け介護関連情報誌

『輪はっは』編集責任者 奥村 健太郎さん

参加者：51サロン 113人（男性46人 女性67人）



●地域サロン活動備品貸出

46,440 円

地域サロンの活動内容の充実や、地域サロンの啓発を目的としてサロン活動備品の貸出をしました。

地域サロン貸出備品	貸出数
回想かるた	10件
唱歌カルタ	11件
ととあわせ（江戸前、京都丹後、隠岐出雲石見）	13件
花おりおりかるた	2件
思い出かるたⅡⅢ	11件
昭和スターかるた	5件
美空ひばりかるた	4件
十二支ビンゴ	4件
しりとりブロックくずし	1件
防災グッズ・カードゲーム	1件
麻雀セット	33件
カロム	16件
輪投げ	25件
フックボールボードセット	6件
トリコロキューブ	3件
新十扇	5件
競馬でGO	4件
ミュージックベル	10件
パスタマシン	6件
DVD	83件

介護予防貸出備品	貸出数
大型バランスゲーム	1 件
低床型玉入れセット	1 件
ドレミパイプ	9 件

(4) 地域生活を支える事業の推進

① 地域福祉権利擁護事業の充実

● 自立生活支援専門員、生活支援員による生活支援

4, 975, 117 円

判断能力が充分でないため、毎日の暮らしのなかで福祉サービスの利用手続きや日常のお金の管理が不安な人が、地域で安心して生活を送れるように支援する地域福祉権利擁護事業の充実に努めました。

利用者に寄り添った、確実できめ細かな支援を継続できるよう、今年度は生活支援員を5名増員しました。

【相談件数】

	平成 28 年度	平成 27 年度	平成 26 年度	平成 25 年度	平成 24 年度
高齢者	218 件(170 件)	231 件 (86 件)	373 件(135 件)	148 件(99 件)	294 件
知的障害者	587 件(115 件)	546 件 (114 件)	459 件(119 件)	222 件(44 件)	238 件
精神障害者	550 件(207 件)	573 件 (248 件)	556 件(273 件)	313 件 (150 件)	240 件
その他	0 件(0 件)	1 件 (0 件)	8 件(3 件)	3 件 (0 件)	85 件
計	1, 355 件(492 件)	1, 351 件 (448 件)	1, 396 件(530 件)	686 件 (293 件)	857 件

※平成26年度からは、支援員が支援した件数も計上しました。

※() は生活保護受給者からの相談件数です。

【契約人数】

	平成 27 年度 契約件数 (A)	平成 28 年度 解約件数 (B)	平成 28 年度 新規契約件数 (C)	3 月末現在契約件数 (内生活保護) (A) - (B) + (C)
高齢者	7 人	4 人	4 人	7 人 (6 人)
知的障害者	25 人	0 人	2 人	27 人 (5 人)
精神障害者	11 人	1 人	2 人	12 人 (4 人)
身体障害者	0 人	0 人	0 人	0 人 (0 人)
合 計	43 人	5 人	8 人	46 人 (15 人)

【契約人数の推移】

	平成 28 年度	平成 27 年度	平成 26 年度	平成 25 年度	平成 24 年度
高齢者	7 人	7 人	9 人	9 人	10 人
知的障害者	27 人	25 人	24 人	20 人	19 人
精神障害者	12 人	11 人	13 人	11 人	12 人
その他	0 人	0 人	0 人	0 人	0 人
計	46 人	43 人	46 人	40 人	41 人

【支援回数】

	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度	平成24年度
支援回数	729回	745回	736回	690回	736回
内生活保護受給者支援回数	291回	257回	276回	289回	222回

○支援専門員・生活支援員の体制

- ・支援専門員： 3人
- ・生活支援員：28人（男性：8人 女性：20人）

●関係機関との連携

○各利用者のケース会議やケアカンファレンスに随時参加

- ・市高齢者虐待判定・対応方針会議（年／6回）
- ・市権利擁護事例検討会（随時）
- ・地域包括支援センターからの相談 18件
- ・障害者福祉センターからの相談 6件
- ・その他支援機関からの相談件数 5件

●地域福祉権利擁護事業の啓発

- パンフレットを作成し、各単位民生委員児童委員協議会定例会にて周知しました。
- 福祉を考える市民のつどいにてパネル展示を実施し周知啓発を行いました。

●生活支援員の研修会の開催

○生活支援員の研修

（市社協主催研修）

開催日：平成28年4月26日（火）

場 所：市社協

内 容：支援活動におけるリスクマネジメントについて

講 師：滋賀県社会福祉協議会 運営適正化委員会 部長 松村 賢一さん

対 象：生活支援員

参加者：9人

（県社協主催研修）

開催日：平成28年10月19日（水）

場 所：県立長寿社会福祉センター

内 容：①認知症の人の理解と支援について

②成年後見制度について

講 師：①グループホーム大宝の郷 管理者 永島 政勝さん

②成年後見センターもだま 所長 山本 留美さん

参加者：4人

開催日：平成28年11月 2日（水）
 場 所：県立長寿社会福祉センター
 内 容：①精神障害者の理解と支援について
 ②知的障害者の理解と支援について
 講 師：①地域生活支援センター風 所長 黒木 稔さん
 ②虹の会 法人本部 事務局長 川島 和久さん
 参加者：7人

②心配ごと相談・貸付事業の充実

●心配ごと相談所開設

1,313,890 円

住民の皆さんに身近な、なんでも相談窓口として「心配ごと相談所」を開設し、様々な相談に対応しました。

○月曜日から金曜日の10時～12時、13時～15時に開設しました。

○弁護士相談は、原則第1・第3水曜日に実施しました。

○年4回発行の市社協広報紙「社協くさつ」に毎回掲載し、周知に努めました。

内容	平成 28年度	平成 27年度	内容	平成 28年度	平成 27年度	内容	平成 28年度	平成 27年度
離婚	4件	4件	生計	129件	175件	精神保健	12件	12件
家族	12件	20件	財産	6件	9件	苦情	6件	7件
人権・法律	1件	1件	住宅	1件	1件	職業・生業	19件	35件
事故	0件	1件	消費者問題	0件	4件	医療	2件	1件
結婚	1件	0件	環境	6件	3件	高齢者福祉	3件	1件
年金	0件	0件	児童福祉	1件	1件	教育・青少年	1件	0件
心身障害児童福祉	2件	0件	母子父子福祉	0件	0件	その他	101件	53件
計							307件	328件

●相談員連絡会の開催

相談員連絡会は年6回開催し、相談員どうしの情報交換を行いました。また、相談員のスキルアップのための研修会を実施しました。

○相談員研修会

開催日：平成29年3月22日（水）

場 所：アーバンホテル南草津

内 容：裁判員制度について

講 師：弁護士 田口 勝之さん

参加者：5人

●生活つなぎ資金貸付

2,665,890 円

民生委員児童委員と連携し、一時的に生活困難に陥った世帯が再び安定した生活に戻るまでの間をつなぐため、生活つなぎ資金を貸し付けました。

【貸付相談件数】

	平成 28 年度	平成 27 年度	平成 26 年度	平成 25 年度	平成 24 年度
貸付相談件数	83 件	84 件	71 件	78 件	137 件

【貸付状況】

	平成 28 年度	平成 27 年度	平成 26 年度	平成 25 年度	平成 24 年度
貸付件数	62 件	57 件	59 件	56 件	66 件
貸付額	2,665,350 円	2,595,000 円	2,660,000 円	2,510,000 円	2,860,000 円

●生活福祉資金貸付

2,964,700 円

滋賀県社協が実施している生活福祉資金の貸付相談や手続きを行うための職員を配置し、生活困窮者に対する相談支援を実施しました。相談については、市に設置されているくらしのサポートセンターとも連携し、切れ目のない支援に努めました。

【貸付相談件数】

	平成 28 年度	平成 27 年度	平成 26 年度	平成 25 年度	平成 24 年度
貸付相談件数	52 件	77 件	113 件	131 件	164 件

【貸付件数】

	総合支援資金	福祉資金		教育支援資金	不動産担保型生活資金	臨時特例つなぎ資金	生活復興支援資金	計
		緊急小口資金	福祉費					
平成 28 年度	0	3	3	25	0	0	0	31
平成 27 年度	2	2	4	12	0	0	0	20
平成 26 年度	9	4	8	10	1	0	0	32
平成 25 年度	9	9	7	7	0	0	0	32
平成 24 年度	17	12	3	14	2	0	0	48
平成 23 年度	28	14	3	10	0	0	1	56

③小地域福祉活動における民生委員・児童委員との連携

●草津市民生委員児童委員協議会事務局

毎月 1 回、総務会、必要に応じ総務委員会を開催し、関係機関・団体などからの情報提供や協議を実施しました。また、5 部会 2 委員会 1 連絡会をはじめとした民児協活動が有効に機能するように支援し、職員の学区担当制による情報提供やアドバイスをを行い、個別援助活動が円滑にできるように支援・協力をしました。

●歳末たすけあい募金

4,711,997 円

市内の準要保護世帯に、民生委員・児童委員と協力して見舞金を配布しました。また、一時的に支援が必要な世帯には緊急的な支援として食糧を支給しました。

さらに、福祉施設、団体等へ見舞金を配布しました。

○市内の準要保護世帯への見舞金（対象世帯：490世帯）

○一時的に支援が必要な世帯に、緊急の食糧支援（43件）

○福祉施設、団体等への見舞金（34施設）

④行政・専門機関、福祉専門職との連携強化

●介護予防サポーターポイント制度【新規】

2,515,041 円

高齢者の社会参加、いきがいづくり活動を促進し、介護予防の普及啓発を図るとともに、介護予防サポーター自身の介護予防を図る目的で、草津市が平成28年度から実施している事業を受託し、市と協働して実施しました。

・介護予防サポーター登録者数：72人

・介護予防サポーター付与ポイント総数：1,649ポイント

（内換金対象ポイント：1,638ポイント）

（平成28年8月1日～12月31日までの活動を対象）

●社会福祉推進連絡会議の開催

市長寿いきがい課と協議を重ね、新たな地域福祉活動の支援にあり方について検討を重ねました。

（協議内容）

生活支援体制整備事業、医療福祉を考える会議、介護予防サポーター 等

●市くらしのサポートセンターとの連携

生活に関する困り事を抱えている人について、市社協と市くらしのサポートセンターとの間で互いに情報を共有し、連携して支援しました。

●赤十字事業の推進（日本赤十字社滋賀県支部草津市地区事務局）

日本赤十字社の社資（社費や寄附金）募集や、赤十字活動の普及を図りました。また、赤十字活動を支えるボランティアである草津市赤十字奉仕団の活動を支援し、ボランティアフェスティバルをはじめ、「社協くさつ」や学区の広報紙などにも活動内容を掲載し、奉仕団活動の魅力をPRしました。

社資		5,251,228円
義援金 (累計)	熊本地震災害義援金	6,842,055円
	東日本大震災義援金	55,202,372円
	台風10号等災害義援金	130円
	鳥取中部地震災害義援金	130円

●中間支援組織連携

中間支援組織として位置づけされている草津市コミュニティ事業団と共に、「とく得バスツアー」や「脳トレ教室」等の事業を実施し、連携を深めました。

●医療福祉を考える会議の実施にかかる外部との連携強化

地域の中で高齢者の暮らしの課題を協議、共有できるよう、市や各圏域の地域包括支援センター等と定期的に協議を重ねました。

⑤新事業展開の検討

●貧困の子ども支援の検討【新規】 重点4

市内で実施されている「食」をきっかけとした貧困世帯・子どもに対する支援事業の実施・運営に協力・支援してきました。

今年度は、全国などで取り組まれている「子ども食堂」と違う趣旨で、草津市内で初めて子どもに食事を提供する場「ふれ愛♥キッチン」が笠縫学区で開始され、子どもの食の問題だけではなく、多世代交流・あそびを盛り込むなど「地域とのつながりづくり」という幅広い視点の事業を笠縫学区民生委員児童委員協議会と笠縫学区社会福祉協議会が協働で実施されました。その事業について学区内での運営にあたっての予算確保についての相談に応じ、提案等をしてきました。また、実際に職員が出向き、運営のお手伝いや、マスコミへの周知をすることで、「地域とのつながりづくり」の場が市内に広まるよう支援しました。

また、今後も地域のつながりづくりの場が継続できるよう、「ふれ愛♥キッチン」事業や学区社協拠点などへの食糧支援として「草津フードバンクセンター」の設置に向けての検討や、各学区社協が地域の居場所づくりやふれあいカフェなどを展開できるよう「地域のふれあいの場づくり助成事業」の検討も行いました。

●生活支援体制の整備【新規】

高齢者を支える新たな取り組みとして平成29年度よりスタートする「生活支援体制整備事業」について、市と協議しながら、円滑に事業実施できるよう、検討を重ねました。

(5)市社協の基盤づくり

①役員と事務局体制の強化

●社会福祉法人制度見直しへの対応【新規】

社会福祉法人制度の改正を受け、福祉サービスの供給体制の整備及び充実を図るため、定款をはじめ、各種規程の見直しを実施しました。社会福祉法人制度について経営組織のガバナンスの強化、事業運営の透明性の向上のため、また、本協議会内の牽制機能を強化するため、評議員選任解任委員会を設置しました。

●第三者委員の設置

苦情対応窓口を設置し、苦情解決の第三者委員を配置しています。

開催日：平成29年3月24日（金）

場 所：市社協1階小会議室

内 容：市社協事業について（草津市地域福祉権利擁護事業、生活つなぎ資金・生活福祉資金）

●役員会の開催ならびに研修会の開催

492,117 円

理事会、評議員会、正副会長会、評議員選任・解任委員会を適宜開催すると共に研修会を実施したり、他機関への会議にも積極的に参加するなどして、役員体制の強化を図りました。

○正副会長会

開催日		議 案
第1回	平成28年5月18日（水）	※理事会・評議員会の議案について 【市社協】 ・副会長の選任について ・平成27年度事業報告および決算について ・平成28年度1次補正資金収支予算（案）について 【市共同募金委員会】 ・平成27年度事業報告および決算について
第2回	平成29年2月24日（金）	※理事会・評議員会の議案について 【市社協】 ・評議員の選任について ・平成28年度第3次補正予算（案）について ・平成29年度事業計画案および資金収支予算（案）について ・次期評議員候補者の推薦について ・経理規程等規則等の一部改正について ・第3次草津市地域福祉活動計画（案）について 【市共同募金委員会】 ・会則および審査委員会規程の一部改正について ・平成29年度事業計画案および資金収支予算（案）について

○理事会・評議員会・評議員選任解任委員会 （理事会）

開催日		議 案
第1回	平成28年5月2日（月） ※文書審議	【市社協】 ・評議員の選任につき同意を求めることについて

第2回	平成28年5月18日(水) ※文書審議	【市社協】 ・評議員の選任につき同意を求めることについて
第3回	平成28年5月27日(金)	【市社協】 ・副会長の選任について ・平成27年度事業報告について ・平成27年度決算について ・平成28年度1次補正資金収支予算(案)について 【市共同募金委員会】 ・平成27年度事業報告について ・平成27年度決算について
第4回	平成28年10月7日(金) ※文書審議	【市社協】 ・評議員の選任につき同意を求めることについて
第5回	平成28年11月10日(木) ※文書審議	【市社協】 ・評議員の選任につき同意を求めることについて
第6回	平成28年11月29日(火)	【市社協】 ・平成28年度2次補正資金収支予算(案)について ・定款の改正(案)について ・定款施行細則の改正(案)について ・定款および定款施行細則の改正にかかる関連規則等の改正(案)について ・評議員選任・解任委員会の運営に関する規程(案)の制定および委員候補者の選出について ・評議員の選任及び理事候補者について
第7回	平成28年12月6日(火)	【市社協】 ・副会長の選任について
第8回	平成29年2月6日(月)	【市社協】 ・定款改正に伴う諸規程の一部改正について ・評議員選任・解任委員会外部委員の選任と委員会の召集日について ・職務執行状況の報告について ・平成28年度共同募金実績額の速報について ・平成29年度予算編成状況について ・第3次草津市地域福祉活動計画の策定状況について
第9回	平成29年3月8日(水)	【市社協】 ・評議員の選任について ・平成28年度第3次補正資金収支予算(案)について ・平成29年度事業計画(案)ならびに資金収支予算(案)について ・第3次草津市地域福祉活動計画(案)について ・次期評議員候補者の推薦について ・経理規程等規則の一部改正および制定について ・正規職員給与規則の一部改正について

		・会長専決事項の承認について ・定款変更認可の報告について 【市共同募金委員会】 ・会則および審査委員会規程の一部改正について ・平成２９年度事業計画（案）ならびに予算（案）について
--	--	--

(評議員会)

開催日時		議 案
第１回	平成２８年４月１１日（月） ※文書審議	【市社協】 ・理事の選任につき同意を求めることについて
第２回	平成２８年５月２日（月） ※文書審議	【市社協】 ・理事の選任につき同意を求めることについて
第３回	平成２８年５月２５日（水） ※文書審議	【市社協】 ・理事の選任につき同意を求めることについて
第４回	平成２８年５月２７日（金）	【市社協】 ・平成２７年度事業報告について ・平成２７年度決算について ・平成２８年度１次補正資金収支予算（案）について 【市共同募金委員会】 ・平成２７年度事業報告について ・平成２７年度決算について
第５回	平成２８年１２月６日（火）	【市社協】 ・平成２８年度２次補正資金収支予算（案）について ・理事の選任について ・定款の改正（案）について ・定款の改正に伴う関連規則の改正（案）について
第６回	平成２９年３月２７日（月）	【市社協】 ・平成２８年度第３次補正資金収支予算（案）について ・平成２９年度事業計画(案)ならびに資金収支予算(案)について ・第３次草津市地域福祉活動計画（案）について ・定款変更認可の報告について ・平成２９年４月１日からの評議員就任について 【市共同募金委員会】 ・会則および審査委員会規程の一部改正について ・平成２９年度事業計画（案）ならびに予算（案）について

(評議員選任解任委員会)

開催日時		議 案
第１回	平成２９年３月１０日（金）	・次期評議員の選任について

○他機関の会議への参画

草津市市政功労者表彰選考委員会、草津市民生委員推薦会、草津市人権擁護審議会、草津市健康づくり推進協議会、草津市ごみ問題を考える草津市民会議、草津市人権擁護推進協議会、草津市同和教育推進協議会、草津市自殺対策推進会議、草津市地域包括支援センター運営協議会、草津市認知症施策推進会議、草津市障害者施策推進審議会、草津市特定旅館建築規制審議会、草津市住宅マスタープラン等策定委員会、草津市要保護児童対策地域協議会、草津市社会福祉法人等審査会、草津市青少年育成市民会議、草津市立障害者福祉センター運営協議会、草津市発達障害者等支援システム推進協議会、日本赤十字社滋賀県支部評議員会、社会福祉法人滋賀県共同募金会評議員会、草津市民生委員推薦会、社会福祉法人あすこみっと評議員会、社会福祉法人びわこ学園後援会理事会、公益財団法人草津市コミュニティ事業団理事会、草津市地域福祉推進市民委員会、草津市国民保護協議会、草津市平和祈念のつどい実行委員会、滋賀県社会福祉協議会理事会、草津市総合計画審議会委員会、湖南地域社会福祉連絡協議会、草津市発達障害者等支援システム推進協議会、草津市空家等対策推進協議会、草津市立障害者福祉センター運営協議会

○役員研修会 1

「地域福祉活動ステップアップ講座」として、理事・監事・評議員等に研修と市社協事業を実感していただけるように第5回ボランティアフェスティバル内で実施しました。

開催日：平成28年10月15日（土）

場 所：市社協 2階研修室

内 容：「災害が起こっても助け合えるつながりづくり」～がまだすばい！地域力～

コーディネーター：京都光華女子大学准教授 石井祐理子さん

パネリスト：熊本県西原村社会福祉協議会 坂田誠子さん

玉川学区社会福祉協議会 小野元嗣さん

草津市社会福祉協議会 馬場英理

参加者：164人

○役員研修会 2

滋賀県社会福祉協議会が主催するトップセミナーに参加しました。

開催日：平成28年6月27日（月）

場 所：県立長寿社会福祉センター

内 容：災害時に必要とされるソーシャルワークから日頃の社協の実践を考える

講 師：神戸学院大学 藤井博志さん

対 象：理事、評議員、監事

参加者：4人

○役員研修会 3

湖南地域社会福祉連絡協議会が主催する視察研修に参加しました。

開催日：平成28年10月31日（月）

場 所：市社協 2階研修室

内 容：今だからこそ地域福祉

講 師：びわこ学院大学 平尾 良治さん

対 象：理事、評議員、監事

参加者：4人

○役員研修会 4

滋賀県社会福祉協議会が主催するトップセミナーに参加しました。

開催日：平成29年2月4日（土）

場 所：龍谷大学

内 容：地域福祉関連制度・施策の動向とこれからの社協活動の展望

講 師：厚生労働省 社会・援護局地域福祉課 地域福祉専門官 後藤 真一郎さん

対 象：理事

参加者：4人

●職員会議、職員研修の開催

定期的に職員会議を開催し、事業の進捗状況を確認するとともに、市や国の地域福祉活動の動向等について意見交換を行いました。

また、職員の地域福祉コーディネーターとしてのスキルアップのため、研修を実施しました。

○職員研修

開催日：平成29年3月10日（金）

場 所：市社協 小会議室

内 容：第3次草津市地域福祉活動計画について

講 師：草津市社協 山形主事

●地球温暖化防止推進

2,766 円

ゴーヤーカーテンを育て、夏季のエアコンの使用量を削減し、地球温暖化の防止に努めました。

また、ペットボトルキャップやプルトップ、使用済み切手の回収（収集ボランティア）に取り組み、市内全体のエコ活動啓発・推進に努めました。

②会員制・会費制の維持発展をめざす取り組み

●「社協くさつ」での情報公開

「社協くさつ」やホームページにて会員制・会費制に関するページを作成し、積極的に情報発信しました。

●市社協会費

	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度	平成24年度
一般会員	31,804 世帯	31,461 世帯	31,819 世帯	30,792 世帯	30,718 世帯
	4,770,600 円	4,719,150 円	4,772,850 円	4,618,800 円	4,607,700 円
賛助会員	656.6 口	700.2 口	696.8 口	706.2 口	721.8 口
	3,283,000 円	3,501,000 円	3,484,000 円	3,536,000 円	3,609,000 円
計	8,053,600 円	8,220,150 円	8,256,850 円	8,149,800 円	8,216,700 円

③地域福祉活動推進に要する財源確保

●共同募金（赤い羽根・歳末たすけあい）運動の推進

民間福祉事業の振興を図るために１０月１日から１２月３１日まで、全国的に展開される「赤い羽根共同募金運動」を推進しました。

赤い羽根共同募金	9, 7 8 2, 2 5 3 円
歳末たすけあい募金	6, 1 5 8, 9 1 7 円
計	1 5, 9 4 1, 1 7 0 円



●「社協くさつ」有料広告

100,000 円

市社協広報紙「社協くさつ」にて、有料広告を募集し、財源確保に努めました。

○広告掲載企業（基本枠【両企業とも通年】 50,000 円×2 企業）

6 月 1 5 日号…木川営農組合、(有)三王都市開発

9 月 1 5 日号…木川営農組合、(有)三王都市開発

1 1 月 1 日号…木川営農組合、(有)三王都市開発

3 月 1 5 日号…木川営農組合、(有)三王都市開発

●善意銀行・災害復興基金の活用と運用、寄附金の募集

善意銀行事業として、社会福祉全般における市民からいただいた善意の寄附金・物品を社会福祉施設、社会福祉団体や援助の必要な人のために役立てました。

また、ボランティア基金に寄せられた寄附はボランティアセンター運営にかかる様々な事業実施のために活用しました。

さらに、広報紙・ホームページにて、いただいた寄附金を掲載し、寄附金募集の啓発に努めました。

【寄附金状況】

寄附名	平成 2 8 年度		平成 2 7 年度		平成 2 6 年度		平成 2 5 年度	
	寄附金額		寄附金額		寄附金額		寄附金額	
社会福祉振興基金	31 件	1,408,504 円 ※寄附車椅子 9 台 365,000 円含む。	29 件	828,102 円 ※寄附車椅子 2 台 113,000 円含む。	17 件	1,528,288 円	15 件	363,002 円
ボランティア基金	4 件	254,203 円	11 件	251,087 円	14 件	309,294 円	12 件	365,626 円
善意銀行	16 件	505,264 円	10 件	274,908 円	23 件	665,356 円	17 件	544,714 円
災害復興基金	2 件	130,000 円	2 件	104,124 円	1 件	11,428 円	13 件	588,750 円
計	53 件	2,297,971 円	52 件	1,458,221 円	56 件	2,514,366 円	57 件	1,862,092 円

【寄附物品状況】 ※敬称略

- 車椅子 9 台（（公社）滋賀県宅地建物取引業協会青年部会、（株）阪急オアシス、
滋賀日産自動車（株）瀬田店、（株）ツルハホールディングス）
- 食料品 10 件（JA 草津市女性部、カーブス草津西ロメンバー有志一同、西方寺 他、匿名）
- カタログギフト券 1 件（匿名）
- 折り紙セット 1 件（大阪ガス（株）滋賀地区支配人 船谷昭夫）
- 杖 1 件（匿名）
- キッチンペーパー、ティッシュペーパー、トイレットペーパー 1 件（匿名）
- ぞうきん 1 件（大阪ガス（株）滋賀事業所）
- リハビリパンツ、大人用紙おむつ等 20 件（山本千鶴子 他、匿名）

④学区社協活動をはじめとした地域福祉活動支援

●学区社協会長会の実施（学区社協便覧の作成等）

460,700 円

学区社協会長どうしの情報交換や福祉のまちづくりを推進することを目的に会議を実施しました。今年度については、学区社協便覧の作成以外にも、会議の中で市長との懇談会の実施や、福祉を考える市民のつどいにて、学区社協啓発パネルの作成等を通し、学区社協の活動を「魅せる」ことに力を入れました。また、医療福祉を考える会議の進捗状況や、モデル指定学区の取組み状況をテーマとして意見交換の場を持ち、会長どうしが積極的に情報交換できるよう努めました。

日 時	主 な 協 議 内 容
平成 28 年 4 月 20 日（水）	・平成 28 年度地域福祉活動助成事業補助金申請ならびに請求について ・助成事業の案内について ・学区社協便覧について ・平成 28 年度補助金申請ならびに請求について ・平成 28 年度新規立ち上げ地域サロンの助成申請について
5 月 20 日（金）	・新規地域サロン活動補助金交付について ・「第 66 回社会を明るくする運動」の街頭啓発の協力依頼について ・他機関委員会の委員委嘱について ・赤い羽根共同募金助成事業「平成 28 年度近所力アップ活動助成」について ・平成 28 年度福祉活動推進員育成講座について
6 月 20 日（月）	・第 3 次草津市地域福祉活動計画の策定について ・平成 28 年度草津市社会福祉協議会一般会費・賛助会費について ・敬老会について ・地域支え合い運送支援事業について ・草津市社会福祉協議会「送迎ボランティア」の募集について ・第 5 回ボランティアフェスティバルについて ・地域福祉活動ステップアップ講座Ⅰ（役員研修）について ・平成 28 年度草津市社会福祉協議会会長表彰式典について
7 月 20 日（水）	・草津市認知症初期集中支援チームの設置について ・学区社協懇談会について ・平成 28 年度草津市社会福祉協議会会長表彰候補者の推薦について

8月22日（月）	・平成28年度共同募金運動協力依頼説明会について ・平成28年度共同募金街頭啓発について ・健幸都市宣言の実施について
9月26日（月）	・福祉を考える市民のつどいでの学区社協啓発について ・草津市平和祈念のつどいについて ・平成28年度草津市社会福祉功労者表彰式の出席について ・送迎ボランティアのための安心・安全講座について
10月20日（木）	・2016年人権尊重と部落解放をめざす県民のつどいについて ・傾聴講座について ・市長との懇談会
11月22日（火）	・第3次草津市地域福祉活動計画策定における学区社協懇談会を終えて ・次年度の学区社協支援について ・市民からの声について ・平成28年度草津市災害ボランティアセンター運営訓練の実施について
平成29年 1月20日（月）	・平成28年度赤い羽根共同募金の実績報告とお礼について ・平成28年度福祉活動推進員育成講座修了者の報告について ・地域サロン助成金申請様式の変更について ・意見交換について テーマ：医療福祉を考える会議の取り組み状況について 報告者：志津学区、矢倉学区、渋川学区、老上・老上西学区、山田学区、南笠東学区、笠縫学区、笠縫東学区、常盤学区 ・ボランティア活動保険説明会の開催について
2月20日（月）	・介護予防・日常生活支援総合事業について ・平成28年度地域福祉活動助成事業補助金の実績報告書の提出について ・地域のふれあいの場づくり助成事業案について ・意見交換 テーマ：地域福祉活動推進の支援強化事業の実施状況について 報告者：渋川学区 ・平成28年度福祉活動推進員育成ステップアップ講座Ⅱの開催について
3月21日（火）	・平成29年度草津市学区・区社会福祉協議会便覧の提出について ・意見交換 テーマ：地域福祉活動推進の支援強化事業の実施状況について 報告者：老上・老上西学区、山田学区 ・学区社協懇談会の実施について ・助成事業の案内について

○草津市長との懇談会の実施について

開催日：平成28年10月20日（木）

場 所：草津市社会福祉協議会 大会議室

内 容：①橋川市長より、草津市における高齢者の「健幸」についての説明

②学区社協が進めている高齢者に関する活動について報告

報告学区：南笠東学区、志津南学区、草津学区、老上学区・老上西学区、玉川学区、志津学区

●地域福祉活動助成

6,845,650 円

地域の支えあい活動を推進するため、「福祉の土壌づくり」「活動の担い手づくり」「個別援助活動」「地域福祉関係団体間の交流」等の活動を展開する学区社協に対しての補助金を交付しました。また、個人・企業から集まった賛助会費について、学区社協の運営費として助成を行いました。

●地域福祉コーディネーターによる学区社協活動支援

14学区すべてに地域福祉コーディネーターを設置し、学区社協活動に参加協力支援してきました。特に近年、広がりを見せる医療福祉を考える会議では、打ち合わせ会議や振り返りの会議に参画し、住民が高齢者に関する生活問題について、専門機関と情報を共有し、新たな気付きが生まれ、地域福祉活動に広がりや深みができるよう支援しました。

学区・区	平成28年度 支援回数	モデル学区	医療福祉を 考える会議	平成28年度開催数
志 津	18回	—	平成27年度～	5回
志津南	12回	—	—	—
草 津	9回	—	—	—
大 路	11回	平成27年度～	—	—
渋 川	50回	平成27年度～	平成27年度～	2回
矢 倉	18回	—	平成27年度～	2回
老 上	37回	平成26年度～	平成24年度～	2回
老上西	23回			
玉 川	2回	—	—	—
南笠東	33回	—	平成28年度～	3回
山 田	25回	平成26年度～	平成25年度～	2回
笠 縫	7回	—	平成28年度～	1回
笠縫東	4回	—	平成24年度～	2回
常 盤	9回	—	平成27年度～	2回
計	258回	—	—	21回



●学区社協の活動拠点「絆」「ゆかい家」への支援

志津南学区と草津学区にある学区社協の活動拠点「絆」と「ゆかい家」が実施する事業、活動に対する相談や物資の支援を行い、活動の活性化を図りました。

この事業報告書は、第2次地域福祉活動計画（H24～H28）の進捗・評価の観点から、活動計画の推進項目と整合性を持たせた構成としました。



